



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。4月からの生活に期待でいっぱいのことでしょう。環境は変わりますが、皆さんがこれまで学んだことを生かし、ご活躍されることを心よりお祈り申し上げます。在校生の皆さんは、この1年をよく振り返り、次の学年へ進んでください。新学期も元気に登校してくれることを楽しみにしています。

## 卒業生と語る会

10月12日(木)卒業生の就労体験をきくことにより、生徒たちが進路について理解を深める機会として「卒業生と語る会」を実施しました。株式会社東洋紡プロテックから1名、A型事業所株式会社ラボウエルから1名、就労移行支援事業所ワークサポート陽だまりから1名の卒業生を迎え、仕事の話や休日の話などを聞くことができました。生徒たちは、今後の実習や将来の就職、就職後の生活に向けて様々な思いをもつことができたように思います。卒業生に対して「社会に出て大切だったことは？」と質問したところ、「一に挨拶、二にコミュニケーション能力、三に体調管理！」と話していたことが心に残っています。

## 後期現場実習

10月後半から11月にかけて後期現場実習が行われました。

卒業を控えた高等部3年生は、進路先として希望する事業所で実習を行いました。校外での実習日数は、短い生徒で6日間、長い生徒で14日間でした。高等部3年生になると、引率教員なしで実習を行う日が多くなります。仕事の仕方や事業所のきまりを教えてもらったり、分からないことを質問したりする相手は、教員ではなく職場の人です。仕事ができるだけでなく、職場の人とコミュニケーションをとり、円滑な人間関係を作っていくことも大切です。

高等部1・2年生は、自分の適性に合った企業や事業所を探します。いろいろな実習先で経験を積み重ね、「将来、ここで働きたい」「この事業所が自分に合っている」と考えることが大切です。今回の現場実習でも、たくさんの企業や事業所が実習を受け入れてくださり、生徒達は貴重な体験ができました。



## 中学部作業体験

11月に中学部の生徒が高等部の作業を体験しました。実際に高等部へ行って作業をすることにより、作業の技術だけでなく態度や言葉遣いなどの大切さも学び、高等部進学に向けてより一層意識が高まりました。中学部生徒の感想を紹介します。

『木工班の面取りで角のとがっている所を丸くするのが上手にできました。木材をゆっくり慎重に押さえました。丁寧な言葉遣いができなかったので気を付けたいです。』(中学部3年生徒)

中学部生徒にとって貴重な体験となったようです。



## 高等部卒業生の進路先

- ・福井村田製作所(一般企業)
- ・一般社団法人タクティクス福井 FLAP(就労移行)
- ・株式会社LABwel(A型)
- ・ラムサール「わかさ」(A型)
- ・合同会社SEIHYO(B型)
- ・敦賀ワークス株式会社(B型)
- ・きらやま茶屋(B型)
- ・HATARAKU(B型)
- ・ワークサポート陽だまり(B型)
- ・あいぱる(生活介護)
- ・あんのん(生活介護)
- ・はなえみ(生活介護)

お仕事  
 がんばってね

